

網膜走査型レーザアイウェア「RETISSA® Display」を発売

法人向け出荷および個人向け先行受注を開始

株式会社 QD レーザ (本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:菅原充、以下、QD レーザ) は、先行発売しておりました「RETISSA® Display」の法人向け受注分を本日より出荷いたします。また、提携ネットショップにおいて、個人のお客様を対象とした先行受注を開始いたします。



図. 「RETISSA® Display」

網膜走査型レーザアイウェア「RETISSA® Display」は、三原色レーザ光源からの微弱な光と高速振動する微小な鏡 (MEMS ミラー) を組み合わせ、網膜上に映像を描き出すレーザ網膜走査技術「VISIRIUM® テクノロジ」を採用したヘッドマウントディスプレイです。

眼鏡型のフレームに内蔵された超小型プロジェクタから、片眼の視野中心部(水平視野角約 26 度、アスペクト比 16:9)に、HDMI 端子で接続できる機器からのデジタル映像を網膜に直接投影することができます。

原理上、装着者の視力(ピント調節機能)やピント位置に影響を受けにくく、また背景と投影映像のピントずれがない新たな AR(拡張現実)体験が可能となります。

QD レーザでは、網膜走査型ディスプレイの技術評価、応用技術・製品の研究開発を目的とする法人のお客様を対象に、本年4月から先行受注を行ってまいりましたが、本日より順次出荷を開始いたします。また、アスキーストア(http://ascii-store.jp)において個人のお客様を対象とした先行受注を開始いたします。

今後、機器の体験機会となる各種デモイベントを開催予定です。また、パートナー販売店(眼鏡店等) での店頭取扱いの準備も進めており、9月ごろから店頭にてご体験、ご購入いただける予定です。いずれ も、詳細につきましては弊社 HP 等でご案内申し上げます。

なお、実際の商品のお引渡しは2018年秋(予定)となる見込みです。

【「RETISSA® Display」一般(個人)向け価格】

598,000円(税別)

【出荷時期】

2018 年秋 (予定)

【主な機器仕様】

項目	仕様	
消費電力	5 W	
バッテリ駆動時間	2 時間程度	
外形寸法	アイウェア部:161×44×195mm	コントローラ部:80×31×160mm
重さ	アイウェア部:約 60g	コントローラ部:約 460g
入力信号	HDMI (1080P)	
入力端子	HDMI-mini (タイプ C)	
水平視野角	約 26 度	
投影解像度	1024×600(WSVGA 相当)	
更新レート	60Hz	

【株式会社 QD レーザ】

富士通株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:田中 達也、以下、富士通)と三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:安永竜夫)傘下の Mitsui & Co. Global Investment, Inc. (設立当時:株式会社エム・ヴィー・シー)の出資で、2006 年 4 月に富士通からのスピンオフベンチャーとして設立されました。株式会社富士通研究所(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:佐々木繁)と東京大学との 10 年以上にわたる産学連携による共同開発を基に、可視光領域から波長 1300nm 帯までの量子ドットレーザをはじめとする高性能の半導体レーザの開発・製造・販売を行っています。「光で世界は進化する。」というコーポレートキャッチフレーズは、レーザ及び光学技術で社会に貢献していく当社の意志を象徴するものです。

網膜走査型レーザアイウェアの技術は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) によるクリーンデバイス社会実装推進事業、平成 27 年度課題解決型福祉用具実用化開発支援 事業等の支援を受けながら開発を続けてきております。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

電話 044-328-6808/FAX 044-333-3308

メール retissa@qdlaser.com

http://www.qdlaser.com/applications/eyewear.html

・RETISSA、VISIRIUM は株式会社 QD レーザの登録商標です。その他の記載されている製品名などの 固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

- ・見え方には個人差があります。
- ・開発中につき、予告なく仕様等の変更が行われる場合があります。
- ・本製品は医療機器ではありません。視覚障害の方の利用を意図するものではありません。